

あかりの家後援会だより

2017年8月

ごあいさつ

あかりの家後援会 会長 柿木 國夫



皆さまにおかれましては、平素よりあかりの家後援会活動に対しまして、深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。さて、あかりの家は昨年、創立30周年を迎え、無事、記念事業を開催することができました。これもひとえに皆様のご支援、ご愛顧の賜物と心より感謝いたしております。

1986年4月、自閉症の子どもを持つ保護者の呼びかけで設立されたあかりの家は、関係各位の深いご理解のもと、一法人一施設の時代を経て、今では、東播磨地域を代表する自閉症支援の専門施設として大きな発展を遂げて参りました。特に、障害者支援施設あかりの家においては、障害の重い自閉症の方の暮らしを支えるとともに、地域で生活する自閉症の方の「リハビリショートステイ」などにも取り組んでいます。また、発達障害児の療育支援を行う児童デイサービスあかりの家、障害者の様々な相談に応じる地域支援センターあいあむ、兵庫県からの委託事業であるひょうご発達

障害者支援センタークローバーなど、地域で生活する障害者とその家族の支援にも積極的に事業展開を進めています。

一方、障害者の働く場であるワークホーム高砂においては、協力企業との協働によるクリーニング事業に加えて、納豆の製造販売を手掛けるなど、利用者の工賃向上に向けた事業展開を進めています。また、入所型施設に変わる地域での暮らしの場として、本年4月新たに自閉症者を対象としたグループホーム友愛の家を開設しました。

このように、多様な事業を進めながらも、あかりの家が大切にしているのは、30周年を機に自閉症総合援助センターを標榜したことに象徴される、事業間の有機的な連携による質の高いサービス提供であり、より専門性の高い事業運営です。こうした法人の事業推進に対して後援会では、30周年記念式典補助、友愛の家建築補助など寄附をすることによって後方支援を進めています。

今後も、より多くの皆さま方が後援会会員に名を連ねていただき、あかりの家に対する温かいご支援とご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

平成28年度 決算報告書

自 平成28年7月1日
至 平成29年6月30日

収入の部			支出の部			
科目	金額	摘要	科目	金額	摘要	
前期繰越金	964,254		あかりの家法人寄附	7,170,000	法人指定寄附	517万円
会費	1,636,000	258件			グループホーム友愛の家	100万円
寄附金	5,170,000	法人指定寄附5件			30周年記念事業	50万円
雑収入	13	利息			ワークホーム高砂償還金	50万円
			会報	20,000	あかりだより	
			通信費	6,560	入会書発送	
			慶弔費	10,000	入所者 福崎利行さん香料	
			振替費	10,434	会費郵便振込料	
			小計	7,216,994		
			次期繰越金	553,273		
合計	7,770,267		合計	7,770,267		

友愛の家 建設工事



30周年記念式典・祝賀会



ありがとうございました。これからもよろしくお願いいたします。

これまでの支援活動

開設前の支援全般	開設に向けての啓発運動と建設資金（あかりの家、ワークホーム高砂、ひょうご発達障害者支援センター）の援助
寄贈	農耕用ビニールハウス、陶芸用ガス窯、外勤作業用ワゴン車、指導員室用ワープロ2台、あかりの家紹介パネル、ワークホーム高砂用軽四輪車
資金援助	グラウンド作業棟建設、地域交流ホーム建設、土地（中山田519番地）購入、外勤作業用ワゴン車、西作業棟建設、あかりの家個室化等工事費補助、ワークホーム高砂建築借入金償還補助、作業用トラック、事務所エアコン、進入路看板、あかりの家新作業棟、ケアホームスプリンクラー、軽自動車、あかりの家擁壁工事、乗馬健康器具、あかりの家外壁塗装工事、あかりの家男子浴室改修工事、児童棟改修工事、太陽光発電システム設置工事、あいあむ事務所改修工事、オリーブの家用ワゴン車、友愛の家建設工事、30周年記念式典・祝賀会
その他	就労先・職場実習先・作業の紹介、ボランティアの紹介、会合等でのあかりの家の紹介、寄付者・寄付団体の紹介 等